

入札説明書(件名 令和5年度横川ダム湖を対象とした3D-Sea-SPECへの
底沼モジュール組込み業務)に対する質問回答書

国立研究開発法人国立環境研究所
(閲覧期間: 令和5年6月16日～6月30日)

令和5年度横川ダム湖を対象とした3D-Sea-SPECへの底沼モジュール組込み業務

項番	項目	内容
1	項番	仕様書5(1)
	質問	3D-Sea-SPECに組み込むご提供いただけるプログラムについて、プログラミング言語、規模(ステップ数)を教えてくださいませんか？もし言語がコンパイラ型である場合は、そのコンパイラのバージョンも教えてくださいませんか？
	回答	プログラミング言語はFortran90です。ステップ数は3700です。コンパイラはgfortranを利用しており、そのバージョンは8.1です。
2	仕様書項番	仕様書5(3)
	質問	作成するルーチンの方程式などをご提示いただけるのでしょうか？もしくは調査や提案も業務に含まれるのでしょうか？
	回答	底泥からのセシウム溶出現象に係る方程式については提示させていただきます。
3	仕様書項番	仕様書5(4)
	質問	再現性の確認の結果、どの程度の差を許容とするのでしょうか？また、許容範囲を超える場合はモジュールやルーチンの再検討が必要でしょうか？
	回答	3D-Sea-SPECが横川ダム湖に適用されて、水土砂流動計算の再現性が十分に確認できているということが前提条件となりますが、底泥溶出モジュールの組込みによって、再現対象となる項目のうち最も重要な湖水中の溶存態 ¹³⁷ Cs濃度については、計算値が観測値のファクター2に収まることを目安として想定しております。基本的にモジュールやルーチンそのものの再検討は想定しておりませんが、例えばモジュールにおけるパラメータ調整等で十分な改善図られない場合は、別途対応について協議させていただくこともあるかと思っております。
4	仕様書項番	仕様書5
	質問	打合せはWeb会議でもよろしいでしょうか？
	回答	基本的にWeb会議での打ち合わせを予定しております。